令和3年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	8	事業No.	34		
事務事業名	交通体系整備事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	リニア推進課	開始	H10	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	13	リニア・三遠南信時代を支える都市基盤を整備する
	分野別計画			
	法令・例規等		道路運送法	
			道路交通法	
			地域公共交通活性化再生法	

事業目的		
	対象	市民
	意図	市民の地域公共交通利用

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)
★印はISO配慮事項

市民バスの利用者は高校生の通学と一般の通勤が、一方、乗合タクシーの利用者は高齢者が中心となっています。乗合タクシーの利用者数は減少傾向であり、新たな利用者の獲得が必要です。新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通の利用者が減少しており、感染症対策を実施済であることの周知が必要となっています。また、新たなモビリティ(自動運転、MaaS、EV等)の活用に向けた検討を行い、リニア時代を見据えた、持続可能な公共交通体系の構築が課題となっています。

3年度取組

取組内容

◇交通弱者等の移動手段を確保するため、市民バス９路線、乗合タクシー14路線の運行支援を行います。地域公共交通改善市民会議や南信州地域交通問題協議会と連携して、運行に関する改善や利用促進のPR活動を行います。乗り方教室の開催等新たな利用者確保に取り組むなど、持続可能な地域公共交通について検討を行います。
◇市役所内に新たなモビリティ検討チームを設置し、自動運転等の導入を研究します。市民バス循環線においてEVバス１台の運行実証を行うとともに、バスロケ・サイネージの導入についても検討を行います。
◇二次交通の在り方や導入モビリティの検討、ＭａａＳ等に関する研究を行います。

経費の内容	事業費(千円)
一般乗合旅客自動車運送事業補助金	143,315
地域公共交通改善市民会議負担金	3,264
南信州広域連合負担金（南信州地域交通問題協議会）	1,535
EVバス運行実証	1,867
新たなモビリティの研究	726
地域公共交通改善市民会議委員報酬ほか	196
新たなモビリティの検証	9,999
その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	令和3年度 計画	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	令和5年度 計画	令和5年度 実績	令和6年度 計画	令和6年度 実績
運行支援する市民バス路線数	路線	9							
運行支援する乗合タクシー路線数	路線	14							
地域公共交通改善市民会議開催数	回	2							
実証運行路線数	路線	0							
EVバス運行実証台数	台	1							

3年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	160,902
国庫支出金	4,999
県支出金	0
地方債	40,600
その他	7,815
一般財源	107,488

特定財源内訳及び補足事項

（国）スーパー・メガリージョン関連都市再生調査事業費補助金
（地）過疎対策事業債（充当率100％）
（そ）地域振興基金利子　6,015千円
（そ）ふるさと寄附金　1,800千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	9	15	1	160,902 / 0	市民バス等運行業務費
2								
3								
4								
5								
6								
7								